

羽曳野市学校図書館ニュース 第21号

平成30年7月発行：羽曳野市学校図書館司書会

図書委員会、活躍中！



自分たちの図書館をより良く、また読書推進を図るため、各校でがんばる図書委員さんの働きをご紹介します。

当番の日のお仕事、なにしてる？

図書委員会では、当番を決めて休み時間に活動している学校も多くあります。各校どんな活動を行っているのでしょうか。

基本コース

※間違っている本棚に返されている本を、正しい本棚にもどす。

地味なお仕事ですが、これが一番大事です！

本の背表紙の下に貼ってある、ラベルの色と文字・数字をみて、正しい棚にいれなおしてあげてください。



※ブックエンドを動かして、本棚を整える。

各本棚にはいっているブックエンドを動かして、本がたおれたり、ななめにならないように、整えてください。



※しおりひもが出ている本をみつけたら、最初のページにはさむ。

タイトルが見えにくくて邪魔です。最初のページに、はさんでください。



高鷲小

専用クリーナーを使い、本をきれいに。新刊のようになることもあります。

当番の仕事内容が一目で分かる、写真入りのプリントを活用。基本コース・上級コースに分かれています。西浦小



こんな記事見つけたよ！

最近の新聞で気になった記事を紹介しています。記事を読んだ感想など簡単なコメントをつけて、新聞コーナーに掲示し、みんなにアピールしています。西浦東小

各校、長休みや、昼休みを利用してこんな仕事も、しています。

- ・本棚の整頓 分類ごとに
- ・予約の本が届いたお知らせを配布
- ・貸出カードを順番に並べる
- ・図書館の季節の飾り作り
- ・昼の放送で、図書紹介
- ・朝読用学級図書の入替え
- ・おすすめ本の展示・POP・帯・掲示作成
- ・朝会でピブリオバトル
- ・ポプラ社が主催する「子どもの本総選挙」の参加準備

集会で上映

図書館の使い方Movie

中学校ならではの！生徒による企画立案



はびきの殖生学園後期(旧 羽曳野中)

生徒から「最近、図書館でのマナーが守れていない人がいる。啓発ビデオを作りたい」という声が上がったことから、教員の撮影のもと、図書委員会12名で協力し作成しました。

おはなし朝会 体育館で、全児童参加

絵本を大型スクリーンに映し、図書委員会が朗読しました。会場のみんも一緒になって声を出し、絵本の世界を楽しみました。



殖生南小



図書館内には、特集コーナーを設置。

読書郵便

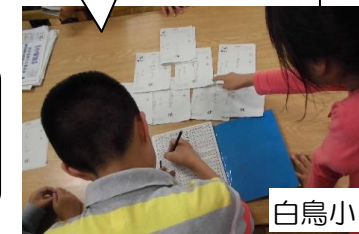
おすすめの本を手紙に書き、交流しています。図書委員は、お手紙に貼る切手作成、手紙の仕分け作業、配達などを行っています。



西浦東小

手紙は誰に出してもOK。たくさん手紙を出した人は表彰されます。

手紙は縦割り班のペアに。手紙を受け取ると、図書館内のブックトラックに置かれた本を読み、感想の返事を返します。



白鳥小

ワークショップ 角しおりを作ろう！



読書月間のイベントとして、本の角に付けるしおりのつくり方を教えました。恵我之荘小

幼小中連携

中学生から小学生へ



はびきの殖生学園後期

図書館には、こんな本があります。動物の本、折紙の本、乗り物の本...



「小学生のとき好きだった本」ポスター

中学生から小学生に向けて、図書館掲示用ポスターを作成しました。選書と紹介文をひとり1冊担当し、3年生が中心となってポスターの形に整えました。

小学生から幼稚園児へ

幼稚園児を学校図書館に招待して、読み聞かせや、利用案内を行っています。



はびきの殖生学園前期(旧 殖生小)

紹介後、読みたい本がある棚に案内し、一緒に楽しみました。小学校に入学後、スムーズな利用が期待できます。

羽曳野市立小学校全校に 専任司書が配置されました！

平成8年に、市内小学校3校に、初めて司書が配置されてから今年で23年目。今年度より、駒ヶ谷小学校に専任の学校司書が配置されました。これにより、市立小学校全ての児童に、いつでも利用できる図書館環境が保障され、図書館教育の基礎が養われることになります。

中学校に対しては、校区の小学校と連携した支援体制がとられています。

駒ヶ谷小学校 安達校長先生



4月より待望の学校司書が配置され、児童の教育環境が飛躍的に向上しました。

児童の読書傾向を分析して頂いた第一声が「今まで以上に成長段階に応じた選書をしてあげたい！」との提言を頂き感動しました。読書は子どもたちの人生の味方だと思います。児童全員が読書好きになってほしいです。

先生のおすすめ本コーナー

教室で読んでよかった本



『ねずみくんのチョコッキ』

作/なかえ よしを
絵/上野 紀子
出版社/ポプラ社



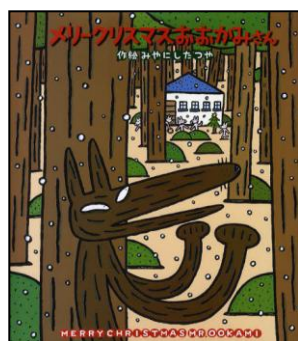
「ねずみくんの絵本」シリーズは、シンプルで簡単なやりとりの繰り返しなのですが、ねずみくんや出てくる動物たちのやさしさやユーモアが可愛くてほっこりします。

「小さくても、上手なくてもいいんだよ。」と心が温かくなる絵本です。

(西浦東小 寺内先生)

『メリークリスマス おおかみさん』

作・絵/宮西 達也
出版社/女子パウロ会



クリスマスが近づくと、必ず読みかかせしたくなる1冊...
こぶたを食べにいったおおかみが、自分で壊したツリーにつまづいてケガをする。必死で看病してくれるこぶたの優しさ...
に、おおかみは少しずつ...

おおかみとこぶた、お互いの勘違いした会話は、子どもたちに大うけ。笑い感動に包まれること間違いなしの1冊です。

(白鳥小 松藤先生)

『てんぐのきのかくれが』

作/青山 邦彦
出版社/教育画劇



子どもたちが好きな「かくれが」作りと細かいイラストで絵本の世界にずっとひきこまれる一冊です。

人間とようかいが協力して大きなかくれがを作るところが楽しくて、子どもたちと一緒に作りたくなっちゃいます。

(高鷲北小 石原先生)

『新美南吉童話集 うた時計』より「屁」

作/新美 南吉
出版社/大日本図書



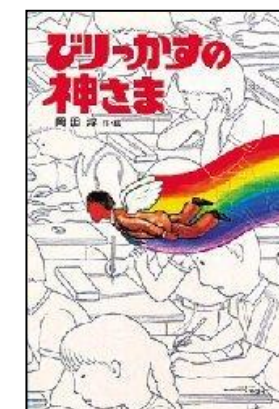
少年たちが主人公に日常の様々な出来事を描いた童話群の一つ...

「久助君の話」を始め、思春期をむかえる高学年の子どもたちにぜひ読みかせたい。中でも「屁」は、子どもにとっては興味をひかれる題材で、読後は自らに深い問いをつきつけられる作品...

(古南小 上島先生)

『びりっかすの神さま』

作・絵/岡田 淳
出版社/偕成社



働き続けて死んだ父...
転校先の学級では成績で座席が決まる。テストでも走りでもびりになると、不思議な「神様」が見えるようになる。

勝つことよりも大切なことを見つけた子どもたちの話...

(丹比小 川崎先生)